はくさん信用金庫

中小企業景気動向調査結果

第4回
発行日　2022.7.22

（2022年4～6月期実績と2022年7～9月期の見通し）

調査日　　2022年6月中旬
調査方法　　金庫職員による面接聴き取り調査
調査対象　　金庫取引先343社（製造業 83社、卸売業 29社、小売業 57社
サービス業 67社、建設業 68社、不動産業 39社）
有効回答率　　73.5%
分析方法　　（D.I.）：diffusion index 「良い」とみる割合から「悪い」とみる割合を引いたもの。
「良い」（上昇）および「やや良い」（やや上昇）の割合　－　「悪い」（低下）および「やや悪い」（やや低下）の割合。

概　況

１．景況　～業況は前回調査より大幅に改善～

今期（2022年4月～6月）の総合業況判断D.I.は▲24.4と前回調査（2022年1月～3月）▲44.0と比較し19.6ポイント大幅な改善となった。調査対象6業種全てで改善となっている。

依然としてＤＩはマイナスが続いているが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が一服し、行動制限の解除など社会活動が徐々に再開され、経済活動が緩やかに回復していることが要因とみられる。

業種別にみると製造業で33.6ポイント改善の▲16.4、サービス業で25.7ポイント改善の▲29.2、小売業で23.4ポイント改善の▲40.0と改善幅が大きくなっている。

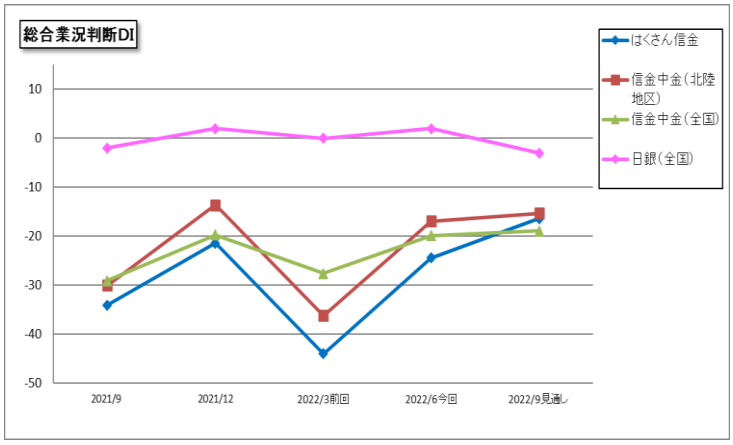
業況面では売上額D.I.は2.4と前期比40.0ポイント改善し、2019年3月以来のプラスとなった。収益D.I.についても前期比27.5ポイント改善の▲12.0となっている。一方で資金繰りについては1.3ポイント悪化し▲19.2となった。

雇用面では10.9ポイント悪化の▲27.7となり、企業の業況の回復に伴って人手不足感が増している。

２．３か月後の見通し～業況は見通しについても改善傾向～

来期の見通し業況判断D.I.は景況回復への期待感も含め▲16.4と8.0ポイントの改善見通し。

なお、今回調査後の7月に入り、全国的にコロナウイルス感染拡大の第7波が既に始まっているとみられること、原油高、地政学リスクによるサプライチェーンの混乱の長期化、過度の円安など景気の下振れリスクが増していることから、今後の景況を注視していく必要があると考えられる。



	2021年9月	12月	前回 2022年3月	今回 6月	次回見通し 9月	方向（前回比）
業況判断	▲34.1	▲21.4	▲44.0	▲24.4	▲16.4	↗
売上額	▲23.5	▲13.2	▲37.6	2.4	0.8	↗
収益	▲26.1	▲12.9	▲39.5	▲12.0	▲11.6	↗
販売価格	▲4.1	14.3	6.0	26.3	25.6	↗
仕入価格	37.3	47.1	56.1	69.8	65.3	↗
在庫	1.9	▲10.5	▲4.9	3.5	1.5	↗
資金繰り	▲21.0	▲11.4	▲17.9	▲19.2	▲18.5	↘
人手	▲15.8	▲23.5	▲16.8	▲27.7	▲27.0	↘

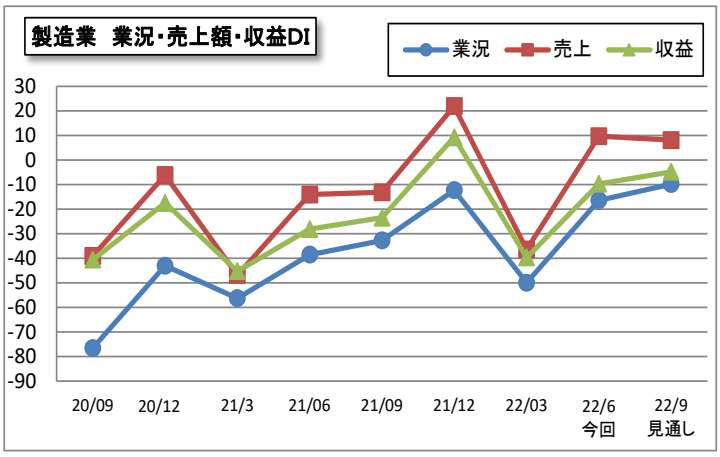
※全国・北陸のデータは、信金中央金庫の「全国中小企業景気動向調査」を参照しています。

業種別業況天気図	2021年9月	2021年12月	前回 2022年3月	今回 2022年6月	次回見通し 2022年9月
総合	☂	☁	☂	☁	☁
製造業	☂	☁	☂	☁	☁
卸売業	☂	☂	☂	☂	☂
小売業	☂	☂	☂	☂	☂
サービス業	☂	☂	☂	☂	☁
建設業	☁	☁	☁	☁	☁
不動産業	☁	☁	☁	☁	☁

業種別の特徴（業況DI）

製造業

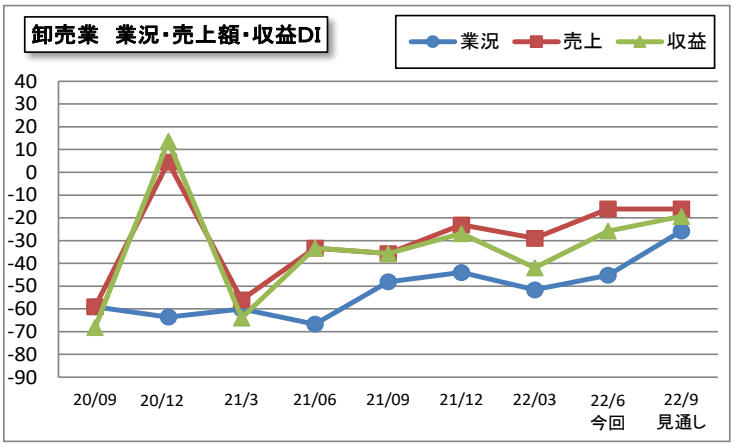
今回調査業況DIは、「▲　16．4」　　～　前回調査比　33．6ポイントの改善　～



	2021年 9月	12月	前回 2022年 3月	今回 6月	次回見通し 9月	方向（前回比）
業況判断	▲ 32.8	▲ 12.3	▲ 50.0	▲ 16.4	▲ 9.8	↗
売上額	▲ 13.2	21.9	▲ 36.5	9.7	8.1	↗
収益	▲ 23.5	9.2	▲ 39.7	▲ 9.7	▲ 4.8	↗
販売価格	▲ 7.6	9.2	6.8	30.6	30.6	↗
原材料価格	50.8	58.5	58.3	80.0	70.0	↗
原材料在庫	7.7	1.5	▲ 7.0	10.0	6.7	↗
資金繰り	▲ 17.6	▲ 16.9	▲ 23.3	▲ 16.1	▲ 14.5	↗
人手	▲ 19.1	▲ 21.9	▲ 13.5	▲ 25.8	▲ 19.4	↘

卸売業

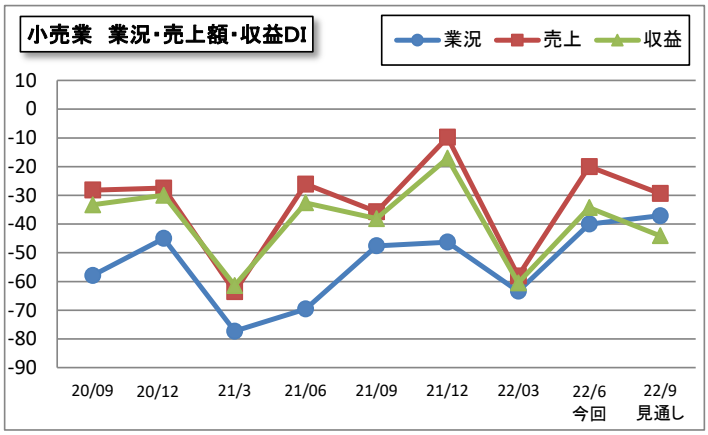
今回調査業況DIは、「▲45．2」　　～　前回調査比　6．4ポイントの改善　～



	2021年 9月	12月	前回 2022年 3月	今回 6月	次回見通し 9月	方向（前回比）
業況判断	▲ 48.1	▲ 44.0	▲ 51.6	▲ 45.2	▲ 25.8	↗
売上額	▲ 35.7	▲ 23.1	▲ 29.0	▲ 16.1	▲ 16.1	↗
収益	▲ 35.7	▲ 26.9	▲ 41.9	▲ 25.8	▲ 19.4	↗
販売価格	▲ 3.6	23.1	25.8	51.6	64.5	↗
仕入価格	21.4	53.8	71.0	67.7	61.3	↘
在庫	17.9	23.1	12.9	12.9	10.0	→
資金繰り	▲ 10.7	▲ 23.1	▲ 12.9	▲ 35.5	▲ 29.0	↘
人手	▲ 7.4	▲ 15.4	▲ 23.3	▲ 19.4	▲ 19.4	↗

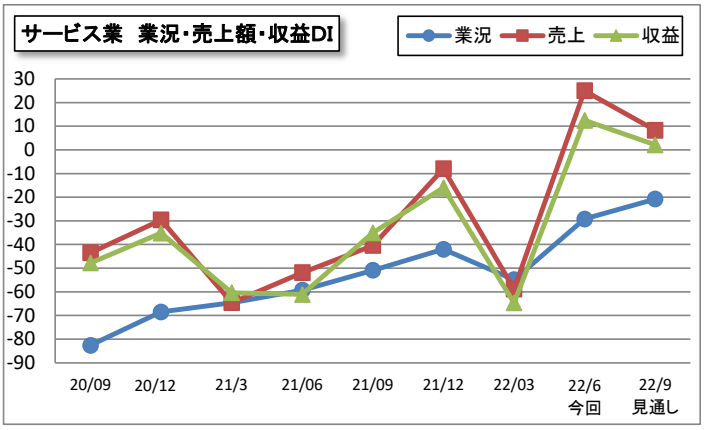
小売業

今回調査業況DIは、「▲40．0」　　～　前回調査比　23．4ポイントの改善　～



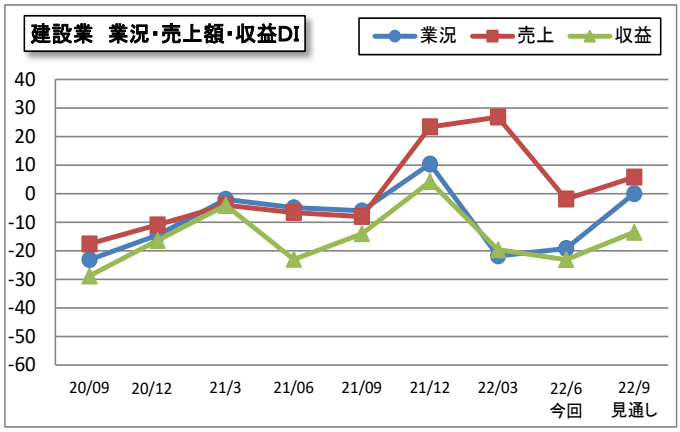
	2021年 9月	12月	前回 2022年 3月	今回 6月	次回見通し 9月	方向（前回比）
業況判断	▲ 47.6	▲ 46.3	▲ 63.4	▲ 40.0	▲ 37.1	↗
売上額	▲ 35.7	▲ 9.8	▲ 58.1	▲ 20.0	▲ 29.4	↗
収益	▲ 38.1	▲ 17.1	▲ 60.5	▲ 34.3	▲ 44.1	↗
販売価格	0.0	15.0	0.0	40.0	32.4	↗
仕入価格	33.3	39.0	48.8	65.7	61.8	↗
在庫	9.5	▲ 7.3	▲ 4.7	11.4	11.8	↗
資金繰り	▲ 38.1	▲ 24.4	▲ 34.9	▲ 29.4	▲ 30.3	↗
人手	▲ 7.5	0.0	▲ 2.3	▲ 20.6	▲ 18.2	↘

サービス業　今回調査業況DIは、「▲29．2」　～ 前回調査比 25．7ポイントの改善 ～



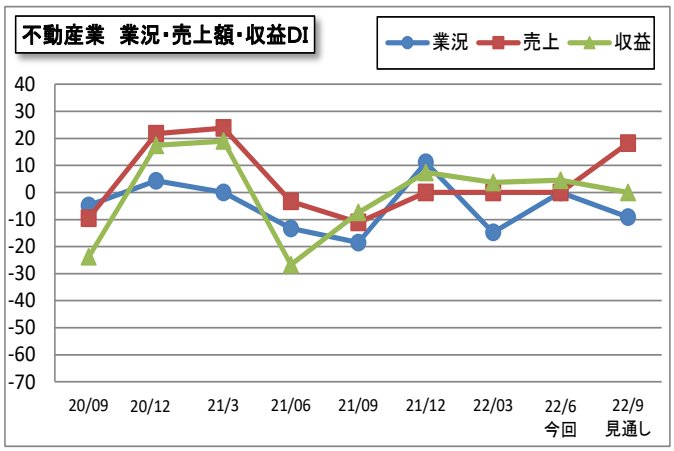
	2021年 9月	12月	前回 2022年 3月	今回 6月	次回見通し 9月	方向（前回比）
業況判断	▲ 50.9	▲ 42.0	▲ 54.9	▲ 29.2	▲ 20.8	↗
売上額	▲ 40.4	▲ 8.0	▲ 58.8	25.0	8.3	↗
収益	▲ 35.1	▲ 16.0	▲ 64.7	12.5	2.1	↗
料金価格	▲ 3.5	10.0	5.9	14.6	16.7	↗
材料価格	33.3	58.0	49.0	66.7	68.8	↗
資金繰り	▲ 38.6	▲ 18.0	▲ 32.0	▲ 25.0	▲ 22.9	↗
人手	▲ 8.9	▲ 30.6	▲ 9.8	▲ 35.4	▲ 39.6	↘

建設業　今回調査業況DIは、「▲19．2」　～ 前回調査比 2．6ポイントの改善 ～



	2021年 9月	12月	前回 2022年 3月	今回 6月	次回見通し 9月	方向（前回比）
業況判断	▲ 6.0	10.4	▲ 21.8	▲ 19.2	▲ 5.8	↗
売上額	▲ 8.0	23.4	▲ 26.8	▲ 1.9	5.8	↗
収益	▲ 14.0	4.2	▲ 19.6	▲ 23.1	▲ 13.5	↘
請負価格	▲ 6.0	6.3	▲ 3.6	5.8	5.8	↗
材料価格	50.0	58.3	69.6	82.7	80.8	↗
在庫	0.0	▲ 5.6	▲ 5.6	0.0	0.0	↗
資金繰り	▲ 4.0	4.2	0.0	▲ 9.6	▲ 7.7	↘
人手	▲ 30.6	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 43.1	▲ 45.1	↘

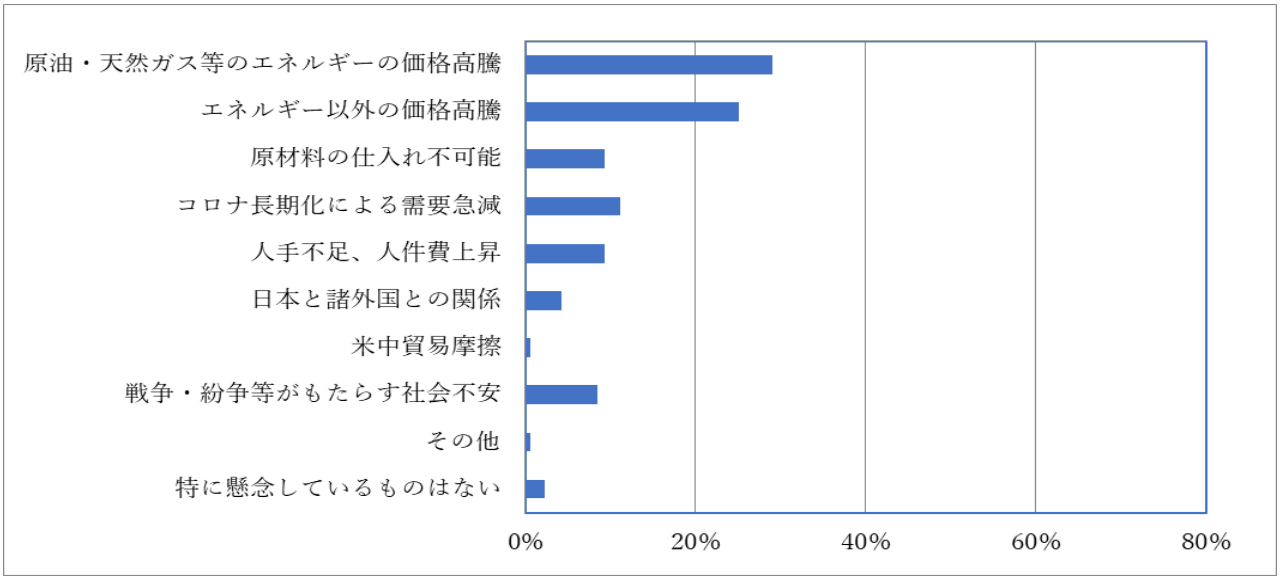
不動産業　今回調査業況DIは、「0．0」　～ 前回調査比 14．8ポイントの改善 ～



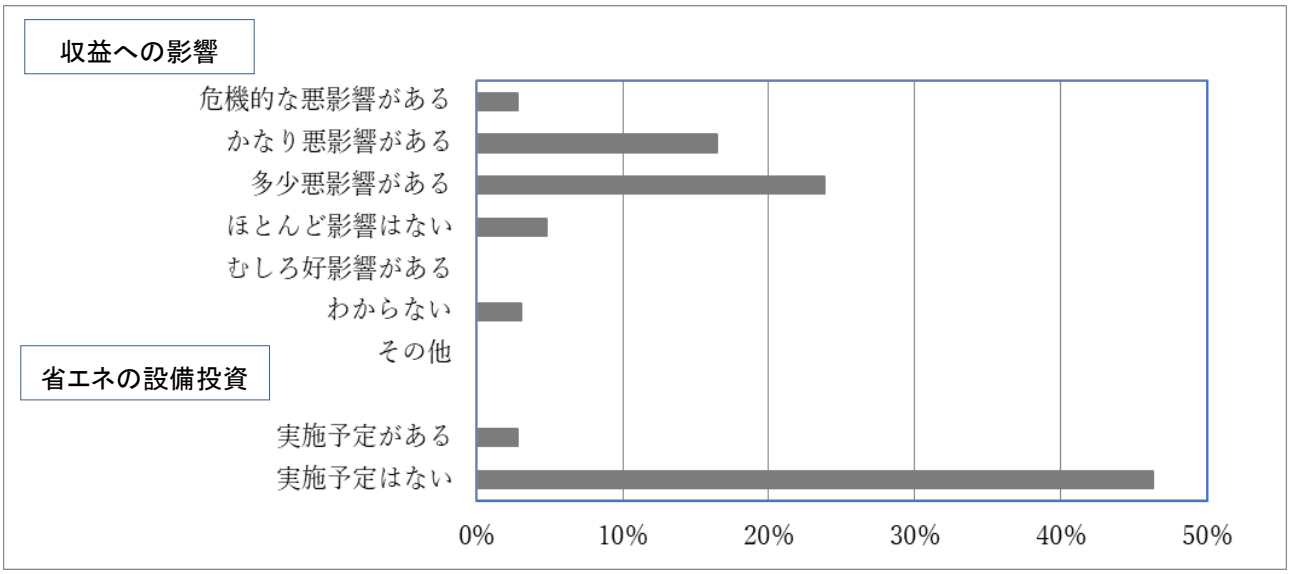
	2021年 9月	12月	前回 2022年 3月	今回 6月	次回見通し 9月	方向（前回比）
業況判断	▲ 18.5	11.1	▲ 14.8	0.0	▲ 9.1	↗
売上額	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0	18.2	→
収益	▲ 7.4	7.4	3.7	4.5	0.0	↗
販売価格	0.0	11.1	11.1	31.8	13.6	↗
仕入価格	11.5	26.9	29.6	23.8	18.2	↘
在庫	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 18.5	▲ 31.8	▲ 36.4	↘
資金繰り	▲ 7.4	3.7	7.4	0.0	▲ 13.6	↘
人手	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 11.5	0.0	0.0	↗

特別調査 【混迷する経済社会情勢と中小企業経営について】

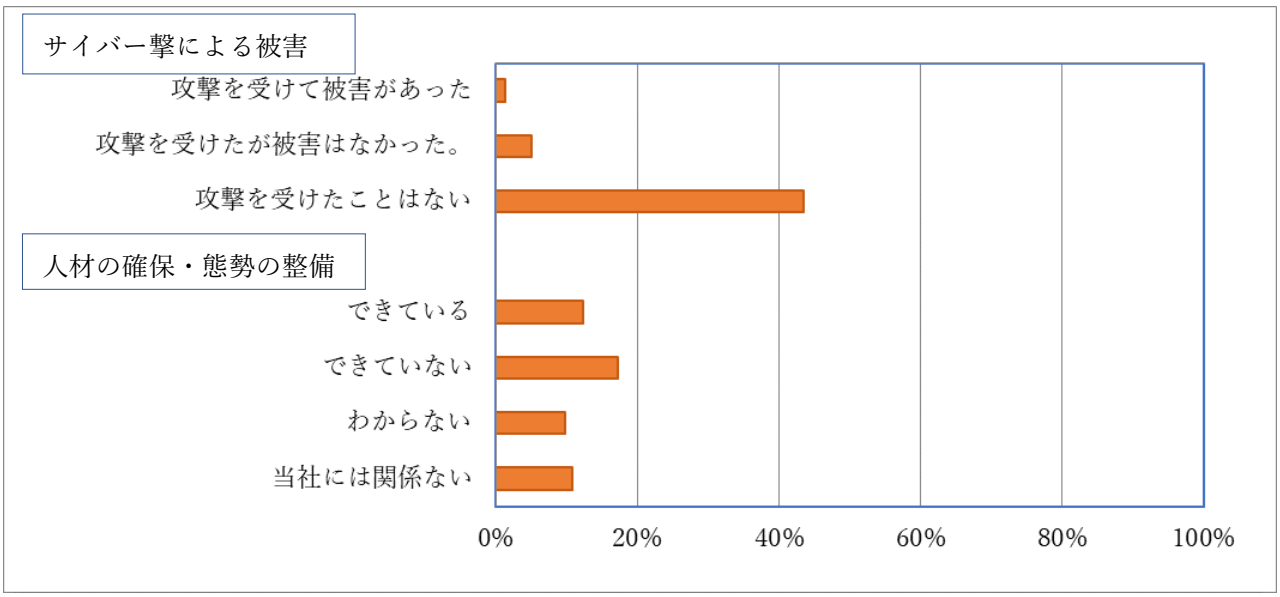
問1.　貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。



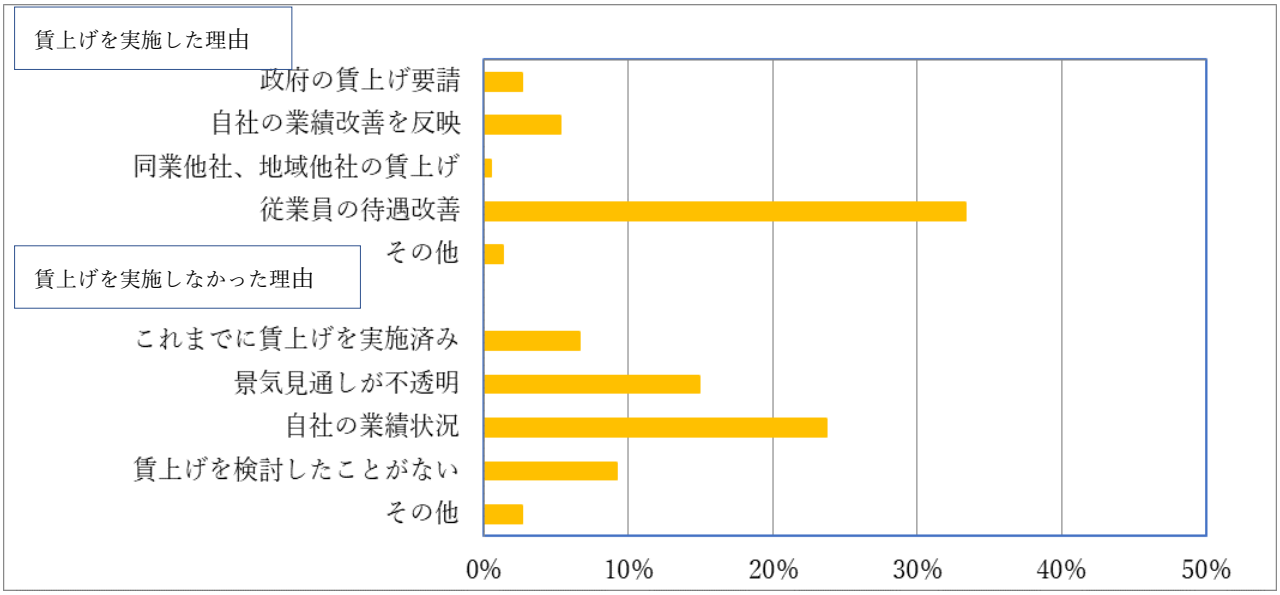
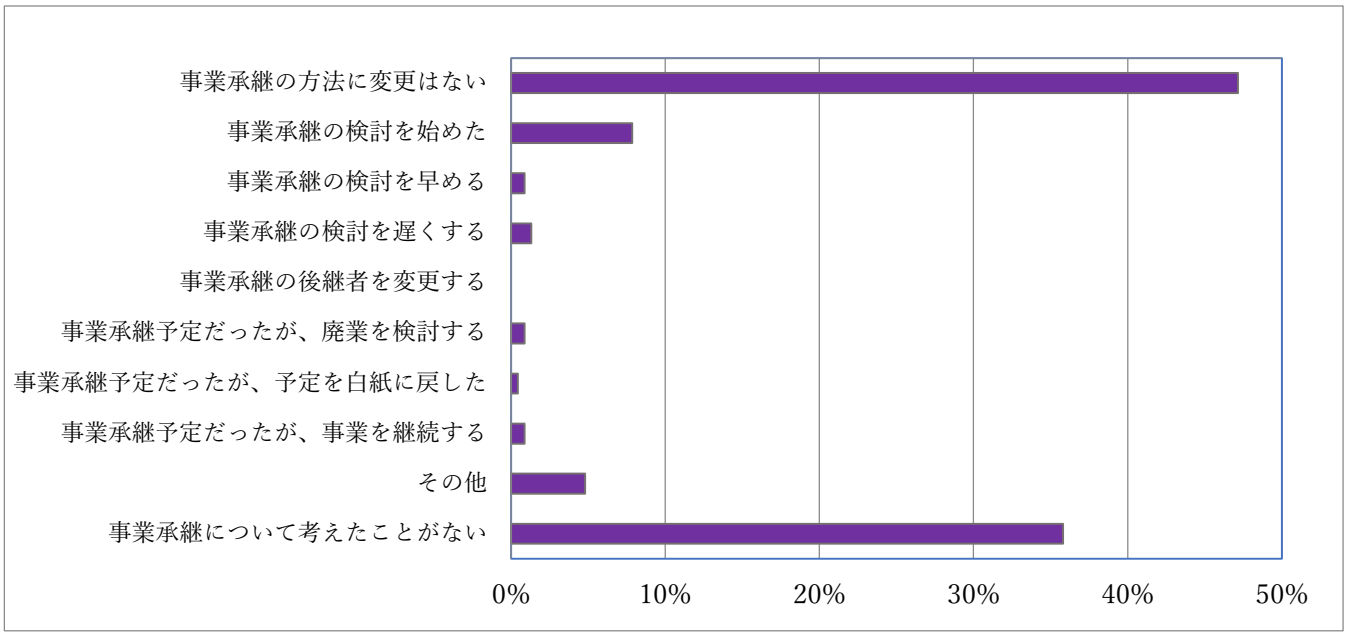
問2.　貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。省エネにつながる設備を実施する予定はありますか。



問3.　貴社では、企業や団体などを標的としたサイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。サイバーセキュリティ対策として専門人材を確保し、態勢整備はされていますか。



問4.　経済社会情勢の混迷の中で政府から賃上げ要請がされていますが、貴社では賃上げを実施しましたか、実施しませでしたか。それぞれの理由はどのようなものですか。



問5.　貴社では、コロナ禍受けて、事業承継（M＆A）について考え方に変化はありましたか。